

# 第 22 期 pES club step4 大会歯学生シナリオ

2023 年 6 月 11 日

文京歯科

大石 匠

東京医科歯科大学大学院 健康推進歯学分野

南郷 里奈

社会福祉法人聖母会 聖母病院 総合診療科

南郷 栄秀

<http://spell.umin.jp>

あなたはピコデンタルクリニックに勤める 5 年目の歯科医師です。羽賀津良さん（78 歳男性）は半年ほど前、歯肉の違和感を主訴に来院しました。

あなたは初診時に歯周病を疑い、口腔内写真、デンタルエックス線 10 枚法、歯周精密検査 6 点法で検査を行いました。上下顎両側とも第二大臼歯まで揃っていますが、全顎的に歯肉は腫脹と発赤が明らかで、歯頸部にプラークの付着と歯石の沈着を認めました。歯周ポケットは最深部が 7mm、全体の 30%程度が 4mm 以上で、BOP は 90%でした。

あなたは歯周基本治療の必要性、歯周外科治療の可能性について説明しました。自覚症状の乏しい羽賀さんは、歯周病と言われてもピンときていないようですが、必要なことならばと笑顔で治療に同意してくれました。その後 OHI、歯肉縁上スケーリング、全顎 SRP まで行いましたが、再評価の結果、16 近心と 37 遠心に 6mm の歯周ポケットが残存していました。BOP も 45%にとどまっています。

羽賀さん「ようやく治療が終わってホッとしています。お世話になりました」  
あなた「羽賀さん、検査結果ですけどね。まだ 6mm の歯周ポケットが残っている箇所があるんです。これでは治ったとは言えませんから、次回、以前お話した、歯ぐきを切っただけをお掃除して縫い合わせる手術を行いたいのですが」

羽賀さん「えっ、そんな説明は受けていませんよ。だいいち今まったく痛みはないし、歯みがきも言われた通り頑張りました。歯ぐきを切るなんて怖いです」

あなたは初診の検査時に歯周外科治療についても言及していたので、伝わっていなかったことに困惑しました。いつもニコニコしていて、信頼関係が築けていたと思っていた羽賀さんの口調が急に厳しくなったことにも驚きました。

歯周外科治療について、あなたの考えをまとめた上で、羽賀さんが納得のいくよう話し合ってください（10 分間）。